




ここにひまわりを...
たね 第47号
ひまわり

社会福祉法人 ひまわり 広報部発行 杵築市 ひまわり 検索
0978-52-2233 0978-66-5500 http://www.wel-himawari.net

社会福祉法人ひまわり理念
・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献

基本方針
・利用者があるがままの姿を受け入れ、見守り、優しく安らぎのある施設にします
・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
・社会で通用する接遇を修得し、利用者にも明るく(気持ちの良い)態度で接します
・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

東北地方太平洋沖地震災害義援募金のお願い



募集期間
平成23年3月14日～4月30日
ひまわり各事業所内に募金箱を設置しております。

「東北地方太平洋沖地震」について、各種団体からの支援が始まっている中、介護車輛の助成をしていただいている日本財団や全国社会福祉協議会から義援金協力の依頼文書が届いており、当法人も義援金という形で支援をおこなうことに致しました。

つきましては、被災された地域の1日も早い復興を祈り募金のご協力をお願いします。


なお、募金につきましては、施設内の掲示板に詳細を掲示し、日本財団及び全国社会福祉協議会を通じてお届け致します。

皆様の温かいご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人ひまわり
理事長 衛藤道生

ひまわり福祉サービスマネジメント委員会

3月4日、本年度第二回、福祉サービスマネジメント委員会が開催されました。運営している在宅・施設各サービスマネジメントに寄せられたクレームや要望を委員さんに紹介し、ご意見を伺いました。利用契約時にしっかりと確認を行い、双方確認が取れていなければ生じていないクレームも多く、説明と確認を今以上に徹底する旨の説明を行い閉会しました。



瑞雲荘 各総会開催

2月21日、本年度第二回目の瑞雲荘運営支援委員会が開催されました。今回は主に、瑞雲荘建替え年度繰り下げについての要望書に対する回答について意見を交わし、平成28年度までに建て替えることにご理解をいただきました。

また、昨年施行しました空調設備工事の結果、平成23年1月末の時点で前年度と比較して、光熱費約二百万円の経費削減となった事の説明を行いました。


瑞雲荘家族会

2月26日、本年度第二回目の総会が開催されました。施設の現況報告、取り組み、施設の建替えについて、あらためて経緯と施設の方針を説明させていただきました。

意見交換では、ヒヤリハットの内容や家族会と施設からの定期発送便等について質問があり、ご説明させていただきました。ご家族の方々が、開会前、閉会后にご面会をされ、利用者様の笑顔も多く見られました。

梅桃絵画展

期：杵築生涯学習館
日：2011年3月29日(火)～4月4日(火)
時：AM9:00～PM5:00



梅桃絵画展のお知らせ

杵築市生涯学習館
平成23年3月29日(火)～4月4日(火)
午前9時より午後5時まで

皆様お誘いの上、お越し下さい。

訪問看護通信

きつき訪問看護ステーション

ストレスの多い春

梅の花が咲き、これから色々な花が鑑賞出来ると思うと楽しくなります。お彼岸がくると日差しも強くなりますので日焼けに注意をしてください。

さて、ストレスには血液中のホルモンを通しておきるものと、自律神経系の神経の働きによるものの、2種類があります。自律神経が活性化すると胃腸の血液量を減らし、働きを鈍くします。その結果食欲は減少し、胃液の分泌量が増えて、ひどい時には胃潰瘍や急性胃炎を引き起こします。暖かい日差しの下で、散歩やジョギングをしたり夫婦や仲良しの友達としゃべりをしたりすることは気分転換によいでしょう。

ストレスを感じたら、早寝、早起きなどの小さな生活のリズムから見直し、ちょっとした運動を取り入れて汗をかくとよいでしょう。

(阿部)

相談員日記

この度の東北地方太平洋沖地震による被害に遭われた地域の皆様に対して、心よりお見舞い申し上げます。

1日も早い復旧をお祈り申し上げます。

今回の災害に関する報道を見て、被災地の悲惨な状況に深く心を痛めています。被災者のお1人がインタビュー受け答えしていた中で、「生きています。ただ、命があるだけで十分です」と泣き崩れていた姿が焼き付いて離れません。普段当たり前のように生活していることすべてが命あってこそ、生きているからこそ。当然のことなのですが、自分の中で今回の震災を通して現実を見つめなおす機会になっていきます。命の尊さや生きるという事、支えあいや繋がり大切さ、想定外の必然、非常時を意識しておくこと。等々、あげればきりがありません。今回起こったことをただ悲劇として捉えるのではなく、教訓として活かすこと。学んだことを次につなげる事が自分から出来ること。1つとして大切な事ではないかと自問自答している今日この頃です。

(重松)

編集後記

この度は、東北地方太平洋沖地震による被害に遭われた地域の皆様に対して、心よりお見舞い申し上げます。今回の災害に関する報道を見て、被災地の悲惨な状況に深く心を痛めています。被災者のお1人がインタビュー受け答えしていた中で、「生きています。ただ、命があるだけで十分です」と泣き崩れていた姿が焼き付いて離れません。普段当たり前のように生活していることすべてが命あってこそ、生きているからこそ。当然のことなのですが、自分の中で今回の震災を通して現実を見つめなおす機会になっていきます。命の尊さや生きるという事、支えあいや繋がり大切さ、想定外の必然、非常時を意識しておくこと。等々、あげればきりがありません。今回起こったことをただ悲劇として捉えるのではなく、教訓として活かすこと。学んだことを次につなげる事が自分から出来ること。1つとして大切な事ではないかと自問自答している今日この頃です。

毎月10日発行 編集責任者 社会福祉法人ひまわり 高尾毅

きつきの里 デイサービスセンター



「わぁ、食べるのがもったいない」



美しいお雛様と



お誕生日おめでとう。



「ガンバレー」

三楽園 デイサービスセンター

ひな祭り

3月3日はひな祭り。昼食はお雛様御膳を用意させていたいただきました。
 「今日はごちそうやなく」と喜ばれていました。
 又、甘酒やビールも振舞われ、ほんのりピンク色の頬をされた利用者様も居られ、和やかなひと時を過ごしていただけたようです。
 そして、おやつ時間前には職員扮するお内裏様とお雛様の登場が盛り上がりました！「ワー！」という歓声が上がりました。その美しさに皆様うっとりさられていました。
 中には、お内裏様とお雛様が身につけている手作りの小物を見て、「そのかつらはゴミ袋でできちよんのかい？」と突っ込みを入れられたましたが、最後には一緒に記念撮影を行いました。



絵手紙「八重桜」
高島 栄様



梅見ドライブ

春の兆しを肌で感じる心地よい季節となりました。三楽園利用者様は春を見つけに安岐にある梅園の里へ出掛けました。梅園の里ではたくさんの梅の木が植えられ花を付けていました。白梅、紅梅、豊後梅、そしてしだれ梅、さまざま品種の梅の花を一度に見ることが出来ました。

又、この日は梅祭りであって多くの人たちで賑わい、雛人形も展示されており、カメラ片手に散歩を楽しむ行楽客の皆さんと一緒に鑑賞させていただきました。そして坂を登ると里の駅、宿泊施設やレストラン、天文館と数々の施設が隣接しており、利用者様たちも楽しそうに御覧になっておりました。一足先に春を感じた利用者様は、来年も元気で参加したいと口を揃えておっしゃっております。

利用者様感想
 堀 鐵士様
 梅園の里に行くのは初めてでしたが、とても良かった。特に紅梅が多くて綺麗だった。



瑞雲荘

法話の会

3月18日



お彼岸の入りとなるこの日、僧籍を持つ高尾生活相談員より、お彼岸の歴史や由来についての法話が行われ、ご利用者の皆様と一緒に般若心経をお唱えしました。

第53回県内一周大分合同駅伝応援

2月25日にご利用者の皆様と県内一周駅伝の応援に駆けつけました。自分の出身地のランナーが通る度に「ガンバレー」と大きな声で応援を送っていました。

